

JILPT アーカイブ No.85

子育て世帯の調査
(調査シリーズ No.95、No.109、No.115、No.159) の Read me

本アーカイブデータについて、注意が必要な箇所を以下に示しました。

共通

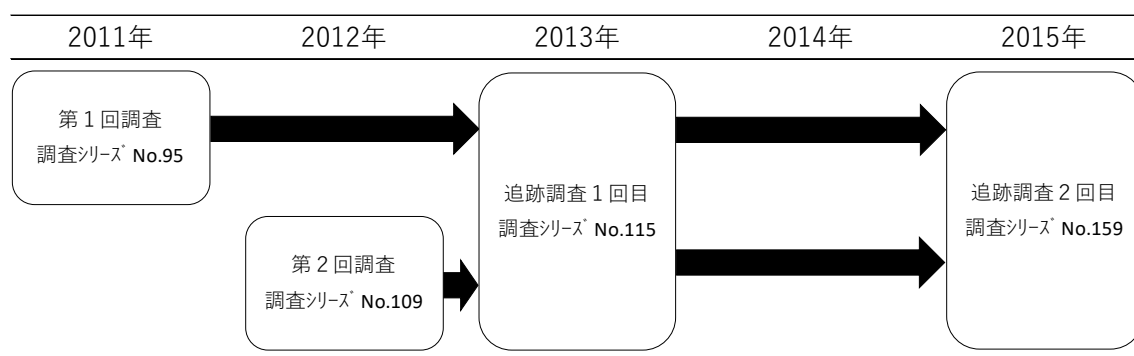
【利用申請】

アーカイブ No.85.1, No.85.2, No.85.3, No.85.4 は一度にすべての調査のアーカイブデータを利用申請いただけます。4 調査のすべての利用を希望される場合は、利用申請書の「2. 利用アーカイブデータ」の欄に、4 調査のすべてをご記載ください。

【各調査の関係】

本アーカイブデータは、「第1回子育て世帯全国調査(2011)」(調査シリーズ No.95) および「第2回子育て世帯全国調査(2012)」(調査シリーズ No.109) の対象者に行った追跡調査となっています。本アーカイブデータには、対象者をマッチングするための変数(変数名: panel_id) が含まれています。

各調査の関係は以下の図の通りです。



アーカイブ No.85.1

第1回調査（調査シリーズ No. 95）

【データに関する注意】

1. 自由記述欄の記入内容は含めていません。
2. 報告書 p.33 では、「ふたり親世帯・父親回答」の 79 ケースについては就業状況、収入等の個人属性が他の標本（母親回答）と大きく異なる可能性があるとされています。本アーカイブデータには上記 79 ケースを除外するフィルタリング用の変数(変数名:filter)を設けています。
3. 本アーカイブデータには調査票の質問項目に対応する変数(自由記述を除く)のほかに、世帯区分(「ひとり親」「ふたり親」)を示す変数(変数名:setai)、フィルタリング変数(変数名:filter)、ウェイトバック集計用の復元倍率(変数名:weight)が含まれています。
4. 問1(2)「生年月」は秘匿処理のため削除しています。代わりに、以下の通りカテゴリ化した年齢を示す変数が含まれています。

調査項目	変数	カテゴリ数	各カテゴリの内容(ラベル)
問1(2) 生年月	q1_2_ca	8	24歳以下 25～29歳 30～34歳 35～39歳 40～44歳 45～49歳 50～54歳 55歳以上

5. 問19(1)「仕事上で役に立っている取得資格」の「役に立っている順番」には、実際に回答があった4番目までのデータが入っています。
6. 問37「世帯年収」は、秘匿化のため3,000万円以上のケースについて一律に平均値を割り当てています。

7. 問 41「家族人数」は、秘匿処理のため 10 人以上のケースについてトップコーディングを行っています。

【報告書の正誤】

1. 図表 1-6 (p.7) および図表 1-9 (p.8) の表側にあるカテゴリ「ふたり親世帯(父親)」のNは 1356 となっていますが、正しくは 79 です。
2. 問 2 (2)「仕事を辞めてからの年数」について
報告書の付属統計表 (p.39) の表頭にあるカテゴリ「3 年未満」「5 年未満」は、正しくは「2 年未満」「4 年未満」です。
3. 問 8「現在の勤務先に勤めてからの年数」について
報告書の付属統計表 (p.50) の表頭にあるカテゴリ「半年未満」の列の値と、「1 年未満」の列の値が逆になっていました。両列の値を入れ替えたものが、正しい値となります。
4. 問 16 (2)「過去 3 年間に就業しなかった理由」について
報告書の付属統計表 (p.61) に記載のある「過去 3 年間に就業しなかった理由 イ 2008 年」および「過去 3 年間に就業しなかった理由 ウ 2008 年」は、それぞれ「過去 3 年間に就業しなかった理由 イ 2009 年」「過去 3 年間に就業しなかった理由 ウ 2010 年」の誤りです。
5. 問 17 (2)「昨年一年間に働いた 1 週間の平均時間」について
報告書 p.62 下の表頭にある「分」は全て正しくは「時間」です。カテゴリ「30 分未満」「1 時間未満」「1 時間半未満」「2 時間未満」「2 時間以上」は、正しくはそれぞれ「30 時間未満」「60 時間未満」「90 時間未満」「120 時間未満」「120 時間以上」です。
6. 報告書 p.152 下の表に問 48 (2)「結婚をした回数」とありますが、正しくは「再婚をした回数」です。
7. 報告書に記載された統計量は速報値です。アーカイブデータの集計結果とは必ずしも一致しません。

アーカイブ No.85.2

第2回調査（調査シリーズ No. 109）

【データに関する注意】

1. 本アーカイブデータにはウェイトバック集計用の復元倍率が含まれます（変数名：weight）。
2. 自由記述欄の記入内容は含めていませんが、自由記述欄に同様の回答が多かった設問ではアフターコーディングを行い、カテゴリを追加しています。具体的には問2（4）、問14（7）、問14（8）、問35（1）です。
3. 報告書には誤って最終版ではない調査票が記載されています。変更点として、報告書の調査票には問48（2）「直近の結婚の時期」に「年」と「月」の項目がありましたが、最終版の調査票では「月」の項目を削除しています。
4. 報告書 p.33 では、「ふたり親世帯・父親回答」の52ケースについては就業状況、収入等の個人属性が他の標本（母親回答）と大きく異なる可能性があるとされています。また、報告書 p.2 に記載の通り、名簿上はひとり親世帯だったものの、実際に調査すると成人兄弟または祖父母と子どもからなる世帯が6ケース存在しています（これらは「その他世帯」として分類しています）。

以上を踏まえ、本アーカイブデータには調査票の質問項目に対応する変数に加え、上記58ケース（52+6）を除外するフィルタリング用の変数（変数名：filter）、世帯類型に対応する変数（変数名：setai）を設けています。その他に、ひとり親世帯とふたり親世帯を区別する変数（変数名：parent）も含まれています。
5. 問1（2）①「生年月（本人）」、問1（2）②「生年月（配偶者）」は秘匿処理のため削除しています。代わりに、以下の通りカテゴリ化した年齢を示す変数が含まれています。

調査項目	変数	カテゴリ数	各カテゴリの内容(ラベル)
問1 (2) ① 生年月 (本人)	q1_2_1_ca	8	24歳以下 25～29歳 30～34歳 35～39歳 40～44歳 45～49歳 50～54歳 55歳以上
問1 (2) ① 生年月 (配偶者)	q1_2_2_ca	9	24歳以下 25～29歳 30～34歳 35～39歳 40～44歳 45～49歳 50～54歳 55歳以上 無回答

6. 問20 (1)「仕事上で役に立っている取得資格」の「役に立っている順番」は、実際に回答があった9番目までのデータが入っています。
7. 問25 (2)「理想の子ども人数」について、データには0 (人) という回答が存在していますが、報告書付属統計表 (p.82) には0人というカテゴリが存在しません。これは報告書付属統計表では0という回答を無回答として集計したためです。
8. 問26ク「習い事・塾代」は、秘匿処理のため8万円以上のケースについてトップコーディングを行っています。
9. 問36 (1)「本人の収入」、問36 (2)「配偶者の収入」、問37 (1)「世帯年収」、問37 (4)「手取り収入」は、秘匿処理のため3,000万円以上のケースについて、一律に平均値を割り当てています。

10. 問 37 (2) 6「元夫(妻)からの養育費(月額)」および問 37 (2) 9「児童扶養手当(月額)」のデータに含まれる「金額不明」(入力値:777777)とは、調査時に1桁~2桁の数字で回答があったケースです。
11. 問 42 (1)「家族人数」は、秘匿処理のため10人以上のケースについてトップコーディングを行っています。

【報告書の正誤】

1. 報告書 p.33 に「父子世帯(52)」という記載がありますが、正しくは「父子世帯(65)」です。
2. 報告書 p.57、問 14 (4)の表頭に「11人」というカテゴリがありますが正しくは「1人」です。また、その1つ下のセルが空白になっていますが、正しくは「0.2」です。
3. 報告書 p.59、問 14 (7) の下段の表頭に「転居・通勤が速い」というカテゴリがありますが、正しくは「転居・通勤が遠い」です。
4. 報告書 p.80、問 23 の質問項目が「衣料を買うお金がなかった」と記載されていますが、正しくは「衣類を買うお金がなかった」です。
5. 報告書 p.129、問 35 (2) の質問項目が「育児と就業を行う上で国や会社支援で不十分だと思う事」と記載されていますが、正しくは「育児と就業を行う上で会社からの支援で不十分だと思う事」です。
6. 報告書に記載された統計量は速報値です。アーカイブデータの集計結果とは必ずしも一致しません。

アーカイブ No.85.3

追跡調査 1 回目 (調査シリーズ No. 115)

[データに関する注意]

1. 自由記述欄の記入内容は含めていません。
2. 非該当の扱いについて
非該当については、システム欠損値ではなく「8」「88」「888」「8888」「88888」「888888」となっています。
3. 本アーカイブデータには調査票の質問項目に対応する変数のほか、世帯類型（「ふたり親世帯」「母子世帯」「父子世帯」「不明」）を示す変数(変数名：setai)が含まれています。
4. 問 9 (4) キ「習い事・塾代の支出額」は、秘匿処理のため 8 万円以上のケースについてトップコーディングを行っています。
5. 問 9 (4) ク「学費の支出額」は、秘匿処理のため 200 万円以上のケースについてトップコーディングを行っています。
6. 問 12 (1)「本人の収入」と問 12 (2)「世帯収入」は秘匿処理のため、それぞれ 1,000 万円超、2,500 万円超のケースについて、一律に平均値を割り当てています。
7. 問 11 (8)「配偶者の年齢」は秘匿処理のため、以下の通りカテゴリ化しています。また問 15 (2)「本人の生年月」は秘匿処理のため削除したうえで、以下の通りカテゴリ化した本人の年齢を示す変数となっています。

調査項目	変数	カテゴリ数	各カテゴリの内容(ラベル)
問 11 (8) 配偶者の年齢	q11_8_a_ca	9	24 歳以下 25～29 歳 30～34 歳 35～39 歳 40～44 歳 45～49 歳 50～54 歳 55 歳以上 無回答
問 15 (2) 本人の生年月	q15_2_ca	8	24 歳以下 25～29 歳 30～34 歳 35～39 歳 40～44 歳 45～49 歳 50～54 歳 55 歳以上

【報告書の正誤】

1. 報告書付属統計表 (p.144) の問 7 (4)「衣料を買うお金がなかった (過去 1 年間)」は、正しくは「衣類を買うお金がなかった (過去 1 年間)」です。
2. 報告書付属統計表 (p.242-243) の問 11 (3)「同居家族」に、「一緒に住んでいる人はいない」という調査票にないカテゴリがありますが、これは直前の問 11 (2)「(自分も含めた) 家族人数」で「1 人」と回答したケースをアフターコーディングしたものです。
3. 報告書付属統計表 (p.130-133) の問 6 (4)「子どもたちの父親の家事・育児分担割合」において、「無回答」の列に誤って「10 割」の列の数値が記載されていました。「無回答」の列の正しい数値は以下の表のとおりです。

問6(4) 子ども(たち)の父親の家事・育児分担割合/家事

パネルA	無回答
全体	5.1
[ふたり親の末子年齢]	
合計	0.4
6歳未満	0.6
6歳以上	0.4
[母子世帯の末子年齢]	
合計	20.4
6歳未満	17.6
6歳以上	19.8
[父子世帯の末子年齢]	
合計	-

パネルB	無回答
全体	5.9
[ふたり親の末子年齢]	
合計	0.7
6歳未満	-
6歳以上	1.1
[母子世帯の末子年齢]	
合計	21.8
6歳未満	24.1
6歳以上	19.1
[父子世帯の末子年齢]	
合計	-

パネルA+B	無回答
全体	5.5
〔ふたり親の末子年齢〕	
合計	0.6
6歳未満	0.3
6歳以上	0.7
〔母子世帯の末子年齢〕	
合計	21.1
6歳未満	21.7
6歳以上	19.5
〔父子世帯の末子年齢〕	
合計	-

問6 (4) 子ども(たち)の父親の家事・育児分担割合／育児

パネルA	無回答
全体	5.8
〔ふたり親の末子年齢〕	
合計	1.3
6歳未満	1.3
6歳以上	1.5
〔母子世帯の末子年齢〕	
合計	20.4
6歳未満	17.6
6歳以上	19.8
〔父子世帯の末子年齢〕	
合計	-

パネルB	無回答
全体	6.4
〔ふたり親の末子年齢〕	
合計	1.1
6歳未満	-
6歳以上	1.9
〔母子世帯の末子年齢〕	
合計	22.4
6歳未満	24.1
6歳以上	19.1
〔父子世帯の末子年齢〕	
合計	-

パネルA+B	無回答
全体	6.1
〔ふたり親の末子年齢〕	
合計	1.2
6歳未満	0.6
6歳以上	1.7
〔母子世帯の末子年齢〕	
合計	21.5
6歳未満	21.7
6歳以上	19.5
〔父子世帯の末子年齢〕	
合計	-

4. 報告書に記載された統計量は速報値です。アーカイブデータの集計結果とは必ずしも一致しません。

アーカイブ No.85.4

追跡調査 2 回目 (調査シリーズ No. 159)

[データに関する注意]

1. 自由記述欄の記入内容は含めていません。
2. 非該当の扱いについて
非該当については、システム欠損値ではなく「88」「88888」「8888888」となっています。
3. 問 9 (6) キ「習い事・塾代の支出額」は、秘匿処理のため 8 万円以上のケースについてトップコーディングを行っています。
4. 問 9 (6) ク「学費の支出額」は、秘匿処理のため 200 万円以上のケースについてトップコーディングを行っています。
5. 問 11 (2)「家族人数」は、秘匿処理のため 10 人以上のケースについてトップコーディングを行っています。
6. 問 11 (9) ウ「配偶者の年収」、問 12 (1)「本人の就業収入」、問 12 (2)「世帯年収」は秘匿処理のため、それぞれ 2,000 万円以上、1,000 万円以上、2,000 万円以上のケースについて、一律に平均値を割り当てています。
7. 問 11 (9) ア「配偶者の年齢」は秘匿処理のため、以下の通りカテゴリ化しています。
また問 15 (2)「本人の生年月」は秘匿処理のため削除した上で、代わりに、以下の通りカテゴリ化した年齢の変数が含まれています。

調査項目	変数	カテゴリ数	各カテゴリの内容(ラベル)
問 11 (9) ア 配偶者の年齢	q11_9_a_ca	9	24 歳以下 25～29 歳 30～34 歳 35～39 歳 40～44 歳 45～49 歳 50～54 歳 55 歳以上 無回答
問 15 (2) 本人の生年月	q15_2_ca	9	24 歳以下 25～29 歳 30～34 歳 35～39 歳 40～44 歳 45～49 歳 50～54 歳 55 歳以上 無回答

8. 問 7 (5) 補問は、調査票ではあてはまるものに○を1つつけるように指示していますが、複数に回答する方もいました。そのためアーカイブデータでは、各選択肢を選んだか否かを示す6つの変数 (q7_5_sq_1 ~ q7_5_sq_6) が含まれています。
9. 問 12 (3) 6「元夫(妻)からの養育費(月額)」および問 12 (3) 9「児童扶養手当(月額)」のデータに含まれる「金額不明」(入力値: 777777) は、調査時に1桁の数字で回答があったケースです。

【報告書の正誤】

1. 問4 (2)「目指していた資格」(報告書 p.59) の表にカテゴリ「学校教員 (小・中・高)」の列が抜けていました。該当部分の数値は以下の表のとおりです。

	学校教員 (小・中・高)
全体	1.6
[ふたり親世帯の末子年齢]	
二人親世帯計	1.6
末子6歳未満	2.3
末子6歳以上	1.4
[母子世帯の末子年齢]	
母子世帯計	1.9
末子6歳未満	-
末子6歳以上	2.3
[父子世帯の末子年齢]	
父子世帯	-

2. 問6(4)「子ども(たち)の父親の家事・育児分担割合」(報告書 p.72)について「育児」の表が抜けていました。該当部分の数値は以下の表のとおりです。

問6(4)子ども(たち)の父親の家事・育児分担割合／育児

	全体	0割	1割	2割	3割	4割	5割	6割
全体	961	25.7	22.8	10.8	11.2	5.2	7.2	0.2
[ふたり親世帯の末子年齢]								
二人親世帯計	692	21.0	29.8	13.7	14.0	6.9	9.0	0.3
末子6歳未満	164	3.0	31.1	21.3	20.7	12.8	7.3	0.6
末子6歳以上	504	26.4	29.6	11.3	12.3	5.2	9.7	0.2
[母子世帯の末子年齢]								
母子世帯計	256	38.7	3.9	3.1	3.1	0.8	2.0	-
末子6歳未満	28	42.9	10.7	7.1	-	-	3.6	-
末子6歳以上	213	38.0	3.3	2.8	2.8	0.9	0.5	-
[父子世帯の末子年齢]								
父子世帯	-	-	-	-	-	-	-	-

	7割	8割	9割	10割	無回答	平均(割)	標準偏差
全体	0.6	0.4	0.6	0.5	14.7	1.81	1.93
[ふたり親世帯の末子年齢]							
二人親世帯計	0.9	0.4	0.9	0.4	2.7	2.01	1.89
末子6歳未満	0.6	0.6	1.2	-	0.6	2.49	1.63
末子6歳以上	0.8	0.2	0.6	0.4	3.4	1.82	1.87
[母子世帯の末子年齢]							
母子世帯計	-	0.4	-	0.8	47.3	0.82	1.81
末子6歳未満	-	-	-	-	35.7	0.67	1.25
末子6歳以上	-	0.5	-	0.9	50.2	0.74	1.81
[父子世帯の末子年齢]							
父子世帯	-	-	-	-	-	-	-

3. 報告書に記載された統計量は速報値です。アーカイブデータの集計結果とは必ずしも一致しません。